



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校

五年生

九月 第③週



学習を始める前に

①必ず用意してください

- ・ 国語のノートと漢字ノート
- ・ 筆記用具

②注意

- ・ 大事だと思うところはノートに書いてください。
- ・ このビデオで使っているスライドを印刷したい人は、最後のお知らせを見てください。
- ・ 「ビデオを止めてください。」と言われたら、ビデオを止めて、先生の指示にしたがってください。
- ・ 必要があるときは、ビデオを止めた後、もう一度ビデオを見たりしてください。

漢字テスト

1. 読み方を書きましよう。
《 答え合せを後でします。 》

永遠

支える

最終的

栄える

仮

一日

築きあげる

過程

実態

効果

気管支

布

比かく

校舎

漢字テスト

1. 読み方を書きましよう。

《 答え合せをしましょう。 》

永遠

えいえん

支える

ささえる

最終的

さいしゅうてき

栄える

さかえる

仮

かり

一日

ついたち

築きあげる

きずきあげる

過程

かてい

実態

じつたい

効果

こうか

気管支

きかんし

布

ぬの

比かく

ひかく

校舎

こうしゃ

漢字テスト

2. 1線の漢字を書きましよう。

《 答え合せを後でします。 》

エイエンに生きていける。

生活をささえる。

サイシユウテキに解決できた。

文明がさかえる。

かりの住まい。

一月ついたち。

長年かかってきずきあげる。

さばくになるカテイを知る。

大学のジツタイを調べる。

薬のコウカが出る。

キカンシの病気になる。

ぬのを切る。

兄とヒかくされる。

コウシヤの屋上。

漢字テスト

2. 1線の漢字を書きましよう。

《 答え合せをしましよう。 》

永遠に生きていける。

生活を支える。

最終的に解決できた。

文明が栄える。

仮の住まい。

一月一日。

長年かかって築きあげる。

さばくになる過程を知る。

大学生の実態を調べる。

薬の効果が出る。

気管支の病気になる。

布を切る。

兄と比かくされる。

校舎の屋上。

身近な環境について考えましょう

環境問題とは何でしょう。川がよごれている。空気がきたなくなっている。ごみが増えている。地球の温度が高くなっている。地球上にいなくなってしまった生物がいる。これらは、わたしたちの身近で起きている環境問題です。身近な環境問題について考え、自分たちの足元から見つめ直しましょう。そして、かけがえのない地球について考え始めましょう。



一秒が一年をこわす

いとう かずあき
伊藤 和明

この地球の上に、わたしたち人類の祖先が誕生したのは、今からおよそ三百五十万年から四百万年ほど前のことだといわれている。その人類は、すぐれたちえと技術とをもち合わせていたために、ほかの生物たちをしりめに、すばらしい発展をとげてきた。特に、この二百年ほどの科学技術の発達はいちじるしく、わたしたちは今、たいへん便利な生活を送ることができるようになった。

身の回りを見回しただけでも、多くのものが自動化されたために、人手をあまり使わなくてもすむようになったし、家庭のテレビでは、世界各地で今起こっている出来事を、居ながらにして見る事ができるようになった。交通機関も発達して、日本からヨーロッパまで、十二時間前後で飛ぶことができるようになった。

しかし、わたしたちがこうした便利な生活を送るためには、地球上のたくさんさんの資げんやエネルギーを使わなければならぬ。そのことが、今、地球の環境に大きなえいきょうをおよぼしつつある。

例えば、世界の各地で森林がどんどん切り開かれている。木は、紙などを作るための原料とされたり、燃料として使われたりする。切られたあとの土地は、耕地や住居のための用地となる。しかし、森林がなくなると、大雨の際、山くずれや洪水などの災害を引き起こしやすくなり、土地はあれ果てていく。こうして、不毛のさばくに変わってしまった地いきさえある。

また、森林やひがたなどの開発が進んだために、野生の生物たちはすみかをうばわれ、次々とほろびようとしている。野生の生物の種類が減るということは、自然がそれだけ貧しくなることであり、生物の一員である人類にとっても、決して好ましいことではない。

さらに、資げんやエネルギーを大量に使えば使うほど、その結果として出る廃棄物の量も増える。そのため、地球上の各地で、生物にとって大切な水や空気がよごれてしまった。海や川によごれは、水辺に住む生物はもちろん、人類にも悪いいきょうをあたえ、大気によごれは健康をそこなう原因となっている。

そのうえ、人類全体にとって重大な問題は、わたしたちが石油や石炭を大量に消費しているために、地球をおおう大気中の二酸化炭素が増え続けていることである。二酸化炭素は、地表から宇宙空間に上げていくはずの熱を吸収する働きがあるため、地球の気温がどんどん上がっていくだろうと予測されている。



このままの活動を人類が続けていけば、地球の環境は悪くなるばかりで、その結果、人類が永遠に生きていけるかどうかさえあやぶまれているのである。言いかえれば、わたしたちの生活を支えている便利さと引きかえに、地球が重い病気にかかり、最終的には人類自身に、大きなわざわいがおよぼうとしているということができる。

地球が太陽系のわく星の一つとして誕生したのは、今から四十六億年ぐらい前だといわれている。地球は太陽からほどよいきよりに生まれ、また、ほどよい大きさをもっていたために、そこには水が生まれ、大気が生まれた。

やがて、その水の中に、さまざまな生命が誕生し、次々と進化をしてきた。初め海で栄えた生命は、四億年ぐらい前からは、陸上にも広がるようになった。いろいろな種類のキョウリュウが、わがもの顔にのし歩いていた時代もあった。そのキョウリュウがほろびると、次にはほにゅう類の時代が来た。そして、最後に人類が誕生したのである。

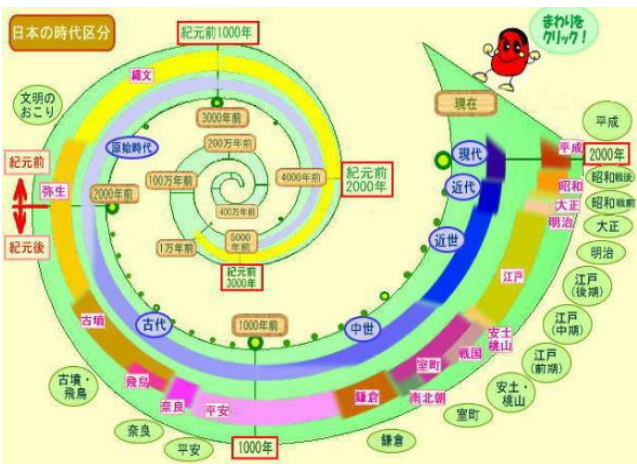
人類は、誕生からの長い間、生物の一員として、地球の自然とうまく付き合いなら生き続けてきた。ところが、ここ二百年ほどの間に、人類は、ちえと技術をふんだんに使って便利な社会を作り上げ、その結果として、地球の環境をこわし人類自身の未来までもあやくしているのである。

四十六億年という地球の歴史に対して、人類の生きてきた時間は、わずか三百五十万年から四百万年ほどにすぎない。

仮に、地球の歴史である四十六億年を、一年にたとえてみよう。地球が一月一日午前0時に生まれ、今が、まるまる一年たった大みそかの夜中の十二時だとしたら、人類の誕生したのはいつごろになるだろうか。答えはなんと、十二月三十一日の午後五時ごろなのである。つまり、地球の歴史を一年にたとえるなら、人類は、生まれてからわずか七時間ほどしかたっていないことになる。

しかも、その七時間の大部分を、人類は、地球の自然と仲良くしながら生きてきた。人類が、さかんな活動の結果として、さまざまな環境の問題を引き起こすようになったのは、わずか二百年ぐらいのことだから、地球の一年に対して、一秒ちよつとの時間にすぎない。

たった一秒間、地球の上で活動をしたために、人類は、地球が一年かかって築きあげてきた環境をこわしてしまい、地球に対して取り返しのつかないことをしようとしている。人類が地球の上で、もしこれ以上おごりたかぶるなら、地球からは、大きなしっぺ返しを食うにちがいない。



まとめの問題をしましょう。

1. 次の文しよを讀んで答えましよう。

このままの活動を人類が続けていければ、地球の環境は悪くなるばかりで、その結果、人類が永遠に生きていけるかどうかさえあやふまれているのである。言いかえれば、わたしたちの生活を支えている便利さと引きかえに、地球が重い病気にかかり、最終的には人類自身に、大きなわざわいがおよぼうとしているということができる。

地球が太陽系のわく星の一つとして誕生したのは、今から四十六億年ぐらい前だといわれている。地球は太陽からほどよいきよりに生まれ、また、ほどよい大きさをもっていたため、そこには水が生まれ、大気が生まれた。

やがて、その水の中に、さまざまな生命が誕生し、次々と進化をしてきた。初め海で栄えた生命は、四億年ぐらい前からは、陸上にも広がるようになった。いろいろな種類のキョウリュウが、わがもの顔にのし歩いていた時代もあった。そのキョウリュウがほろびると、次にはほにゆう類の時代が来た。そして、最後に人類が誕生したのである。

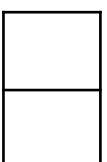
人類は、誕生からの長い間、生物の一員として、地球の自然とうまく付き合いなら生き続けてきた。ところが、ここ二百年ほどの間に、人類は、ちえと技術をふんだんに使って便利な社会を作り上げ、その結果として、地球の環境をこわし人類自身の未来までもあやうくしているのである。

(1) ー線①「その結果」は、どんな結果ですか。

(2) ー線②「そこには水が生まれ、大気が生まれた。」とありますが、地球に水や大気が生まれたのはなぜですか。

(3) 水の中の生命は、いつ陸上でも生活するようになりましたか。

(4) ー線③「地球の自然とうまく付き合いなら生き続けてきた。」とありますが、何の一員としてですか。



まとめの問題をしましょう。

1. 次の文しようを読んで答えましよう。

このままの活動を人類が続けていければ、地球の環境は悪くなるばかりで、**その結果**、人類が永遠に生きていけるかどうかさえあやふまれているのである。言いかえれば、わたしたちの生活を支えている便利さと引きかえに、地球が重い病気にかかり、最終的には人類自身に、大きなわざわいがおよぼうとしているということができる。

地球が太陽系のわく星の一つとして誕生したのは、今から四十六億年ぐらい前だといわれている。地球は太陽からほどよいきよりに生まれ、また、ほどよい大きさをもっていたため、**そこには水が生まれ、大気が生まれた。**

やがて、その水の中に、さまざまな生命が誕生し、次々と進化をしてきた。初め海で栄えた生命は、四億年ぐらい前からは、陸上にも広がるようになった。いろいろな種類のキョウリュウが、わがもの顔にのし歩いていた時代もあった。そのキョウリュウがほろびると、次にはほにゆう類の時代が来た。そして、最後に人類が誕生したのである。

人類は、誕生からの長い間、生物の一員として、**地球の自然とうまく付き合いなら生き続けてきた。**ところが、ここ二百年ほどの間に、人類は、ちえと技術をふんだんに使って便利な社会を作り上げ、その結果として、地球の環境をこわし人類自身の未来までもあやうくしているのである。

(1) ー線①「その結果」は、どんな結果ですか。

このままの活動を人類が続けて、地球の環境は悪くなる。

(2) ー線②「そこには水が生まれ、大気が生まれた。」とありますが、地球に水や大気が生まれたのはなぜですか。

地球は太陽からほどよいきよりに生まれ、ほどよい大きさをもっていたから。

(3) 水の中の生命は、いつ陸上でも生活するようになりましたか。

(四億年くらい前から)

(4) ー線③「地球の自然とうまく付き合いなら生き続けてきた。」とありますが、何の一員としてですか。

2. 「一秒が一年をこわす」で筆者の考えと合っているのはどれでしょう。次の3つから選びましょう。

① 人類は、これからもちえと技術をふんだんに使って、さらに便利な社会を作っていく必要がある。

② 人類は、地球が築きあげてきた環境を短い期間でこわしてしまった。これ以上おごりたかぶると、人類は大きなしっぺ返しを食うだろう。人類は、地球の環境について考える必要がある。

③ 人類のさかんな活動の結果として、さまざまな環境の問題を引き起こすようになったが、環境について考えるのはもうておくれである。

答え

2. 「一秒が一年をこわす」で筆者の考えと合っているのはどれでしょう。次の3つから選びましょう。

① 人類は、これからもちえと技術をふんだんに使って、さらに便利な社会を作っていく必要がある。

② 人類は、地球が築きあげてきた環境を短い期間でこわしてしまった。これ以上おごりたかぶると、人類は大きなしっぺ返しを食うだろう。人類は、地球の環境について考える必要がある。

③ 人類のさかんな活動の結果として、さまざまな環境の問題を引き起こすようになったが、環境について考えるのはもうておくれである。

答え

2

身近な環境について作文を書いてみましょう。

筆者は「一秒が一年をこわす」の中で、どんなことを言っていますか。人類は便利な生活をのぞみ、そのために様々な活動をしています。その活動が地球と地球上に暮らすわたしたちの未来に暗い影をおとしていると言っています。私たちの身の回りで、どんな問題が起こっているのか。そして、その問題はわたしたちの便利な生活と、どのようにかかわっているのか調べて作文を書きましょう。

人間の活動と空気のごこれ

高木 美和

空気はどのくらいよごれているのでしょうか。水のごこれなどに比べて空気のごこれは分かりにくいものです。自分で空気のごこれを調べる方法はないのでしょうか。

まず、本やインターネットで空気のごこれについて調べてみました。空気をよごす原因として、一番多いのは車のはい気ガスや工場のけむりであることがわかりました。車の数は世界中で増えているので、はい気ガスの量も年々増えているのは確かです。工場のけむりは、便利な生活を送るための物を作るときに出ているものです。工場のえんとつから出る、大量のけむりはよく見かけます。この空気のごこれは、その地いきにとどまらず、国境もこえていろいろなところに移動し、そこでも悪い環境を作り出します。人間の健康をそこなうこととしては、はいや気管支の病気が一番でしょう。また、空気の中にふくまれる有害物質が原因で、酸性雨がふるようになって、木や草がかれ、魚が死んでしまうこともあります。

さらに、わたしは空気のごこの実情を知るために、実際に調査をしました。調査方法は、五か所に白い布を一週間置き、そのよごれ具合を比かくするという調査です。布を置いたのは、教室の中、校舎の屋上、学校の横の歩行者専用道路、駅前的大通り、産業道路です。

その結果、産業道路に置いたものがいちばんよごれています。トラックなどの大型の車が通るので、いちばんだと予想していましたが、予想以上でした。次は、駅前の大通りです。ここも、車の通りが多く、人通りもはげしい所です。それに比べると、学校の横の道は、車が通らないので、よごれは少ないです。

この調査で分かったことは、車の交通量が多い場所ほど、空気のごこれがひどいということです。

わたしがこの調査で考えたことは、自動車の利用のしかたを考え直さなくてはいけないということです。自動車は便利なので、なくてはこまることもあると思います。しかし、一人一人が、急がないときや、必要がないときは自動車に乗らないようにすることが、わたしたちにできることの一つだと思います。

一人一人が自分の生活を見直し、工夫することで、地球をこれ以上こわさないことができると思います。



調査結果

調査した所	よごれ方
教室	きれい
校舎の屋上	ほこりがついた
学校近くの細い道	少しよごれた
駅前通り	黒ずみが見られた
産業道路	ひどいよごれがついた

身近な環境について作文を書いてみましょう。

筆者は「一秒が一年をこわす」の中で、どんなことを言っていますか。人類は便利な生活をのぞみ、そのために様々な活動をしていきますが、その活動が地球と地球上に暮らすわたしたちの未来に暗い影をおとしていると言っています。私たちの身の回りで、どんな問題が起こっているのか。そして、その問題はわたしたちの便利な生活と、どのようにかかわっているのか調べて作文を書きましょう。

1. 次の資料と調査結果をもとに「空気のよごれ」について作文を書いてみましょう。

- (1) 書き出し。まず、自分がこれから書くことを説明しましょう。
- (2) 資料をもとに書いてみよう。
- (3) 調査でわかったことを書いてみよう。
- (4) 空気のよごれについて意見を書きましょう。

〈題名〉例：空気のよごれ

(1) 〈書き出し〉まず、自分がこれから書くことを説明しましょう。

例：空気はどのくらいよごれているのだろうか。水のよごれなどにくらべて空気のよごれは分かりにくい。自分で空気の汚れを調べる方法はないのだろうか。

(2) 〈資料をもとに書いてみよう。〉

(資料) 本やインターネットで調べたこと。

- ・ 空気の中にふくまれる有害物質が原因で、酸性雨がふるようになった。
- ・ 空気のよごれは、遠いところまでえいきよする。
- ・ 空気がよごれる主な原因は、車のはい気ガスや工場から出るけむりである。
- ・ 空気の汚れが原因で、はいや気管支の病気になることがある。

(3) 〈調査でわかったことを書いてみよう。〉
書くこと

・ 調査方法

汚れを比かくしやすい場所を決め、白い布を一週間設置して、よごれ方を調べる。

・ 調査結果

・ 調査結果から分かったこと



調査結果

調査した所	よごれ方
教室	きれい
校舎の屋上	ほこりがついた
学校近くの細い道	少しよごれた
駅前通り	黒ずみが見られた
産業道路	ひどいよごれがついた

(4) 〈空気のよごれについて意見を書きましよう。〉

例…自動車の利用の仕方を考え直す。

身近な環境について作文を書いてみましょう。

2. 自分で課題を見つけて、書いてみましょう。

〈課題の例〉

① 野生の生物がほろびようとしている。なんとか守ることはことはできないのだろうか。また、日本にも野生の生物がほろびた例はあるのだろうか。

② 『一秒が一年をこわす』に「廃棄物の量も増える」とあった。私が住んでいるところでも、ごみの分別収集やリサイクルを行っている。その実態や効果、さらにごみを減らすためのほかの取り組みはあるのか調べたい。

③ 川や海の水はどのくらいよごれているのだろうか。主な原因はなんで、水をもとの状態に戻すには、どうしたらいいのだろうか。

④ 『一秒が一年をこわす』に「不毛のさばくに変わってしまった地いき」と書いてあった。実際にさばくになってしまった地いきや、さばくになる過程を知りたい。一度さばくになっても、元に戻すことは可能なのだろうか。

書き方が分からなかったら、質問をeメールで送ってください。また、先生に作文を見てもらいたかったら、eメールに作文を付け、で送ってください。直して送り返します。メールアドレスについては最後に説明があります。

宿題

次回の授業までにやる勉強です。

1. 漢字

漢字テストでできなかつたり、間違えてしまった漢字の復習をしましょう。

2. 音読 「一秒が一年をこわす」を読みましよう。

3. 作文

「身近な環境について、自分で課題を見つけて、書いてみましょう。」を、完成させましよう。

書き方が分からなかつたら、質問をeメールで送ってください。また、先生に作文を見てもらいたかつたら、eメールに作文を付けて送ってください。直して送り返します。メールアドレスについては最後に説明があります。



お知らせ し

1. 質問があったら、メールをください。すぐお返事します。
 2. 自分が書いた文章を見てもらいたいときはメールで送って
くれば、直して送り返します。
- ❖ メールアドレスは、Webページ <http://JPNCClass.com> を
見てください。
 - ❖ このビデオのスライドもWebページからダウンロードや印刷が
できます。



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校

五年生

年間学習表



7月	6月	5月	4月		
		<p>新聞記事から 新聞記事の見出しの 違いについて考えた ことを発表しよう。</p>	<p>自分の意見を持つとう 自分の意見を発表し よう。話し手の意図 を聞き取ろう。</p>	<p>1年間の学習を通し て 先生の話を聞き、学 習を進めよう。</p>	<p>話す／聞く</p>
<p>こんな道があつたら 町の様子を観察し、 気が付いたことや 思ったことを書こう。</p>	<p>大陸は動く 前半と後半に分けて、 書いてあることを短 くまとめよう。</p>	<p>新聞記事から 新聞記事を短くまと めよう。(要約しよ う。)</p> <p>詩を楽しもう 見たり感じたりした ことをもとに、心の つぶやきを言葉にし よう。</p>	<p>やどかり探検隊 物語を読んで、感じ たことや考えたこと を書こう。</p> <p>記録しよう 心に残ったことを、 書留めよう。</p>	<p>新聞記事 記事の要約をし、記 事に対する自分の意 見を書こう。</p>	<p>書く</p>
<p>麦畑 情景を思いうかべな がら読もう。登場人 物の心情と情景が一 体のものでえがかれ ていることを読み取 ろう。</p>	<p>地図が見せる世界 筆者が最も言いたい ことは、どういうこ とだろう。</p> <p>大陸は動く 筆者はどんな考えで、 「大陸は動く」とい う題名をつけたのだ ろう。</p>	<p>詩を楽しもう 文語の詩を読もう。 「自分」の伝え方に ついて考えよう。</p>	<p>やどかり探検隊 主人公の気持ちかを考 え、自分と重ね合わ せて読もう。</p>	<p>新聞記事 記事の内容を読み取 ろう。</p>	<p>読む</p>
<p>仮名づかいの決まり 発音と違う書き方を する、言葉について 知ろう。</p>	<p>つなぎ言葉 つなぎ言葉の働きを 知り、つなぎ言葉を 使えるようになるう。</p>	<p>同じ音の漢字 同じ音を持つ漢字そ れぞれの意味と使い 方を知ろう。</p>			<p>言葉</p>

12月	11月	10月	9月	8月	
<p>目的を考えて話し合おう 目的にそった、有意義な話し合いにするための方法を知ろう。</p>					話す／聞く
<p>わらぐつの中の神 自分の身近な物について、それがどういふものかが読む人にわかるように書こう。</p>	<p>調査したことをまとめよう 調査したいことを決めて、調べたことを作文に書こう。</p>	<p>大造じいさんとガン 大造じいさんの気持ちの移り変わりをまとめよう。</p>	<p>身近な環境 身近な環境について調べ、わたしたちができることは何か書こう。</p>	<p>読書記録 読書記録の書き方を知り、自分の同署記録を書こう。 おみやげ 宇宙人の宿題 「宇宙人」「戦争」「現代文明」について思ったこと、考えたことを書こう。</p>	書く
<p>わらぐつの中の神様 おばあちゃんの思い出話と、その前後の現在の話を配した構成を理解しよう。</p>	<p>「その人」と出会って 筆者が手話を通して心を通わせた経験と、それにもとづいた感動を読み取ろう。</p>	<p>大造じいさんとガン 情景を思いうかべながら読もう。</p>	<p>一秒が一年をこわす わたしたちの周りで実際に起きている問題を考えよう。</p>	<p>おみやげ 宇宙人の宿題 宇宙人に目を向けた二つの作品を読み比べよう。</p>	読む
	<p>熟語を使って 熟語の読み方と意味を知ろう。</p>	<p>敬語 正しい敬語の使い方を知らう。日常生活で使っている敬語をまとめよう。</p>	<p>漢語と和語 漢語と和語について知り、意味の違いを調べよう。</p>	<p>漢字のなりたち 今わたしたち使っている漢字が、どのように作られたのか知ろう。</p>	言葉

	3月	2月	1月	
	朗読をしよう 一年間 学習 した物語の中で、 一番好きな作品の 朗読をしよう。			話す／聞く
	月夜のみみずく 作品全体から感じ たこと、場面ごと の印象を書こう。	リレー物語を作ろう もらった物語の続 きを書こう。 推敲をしよう 書いた作文を、よ り良い文章になる ように推敲しよう。	言葉と気持ち 自分の気持ちや意 図を相手に伝える 短い文を書こう。	書く
	月夜のみみずく 「わたし」が「と うさん」と森に 入った初めての経 験、雪の森の中で 見た世界を想像し よう。	詩の広場 うれしいときや悲 しいとき、わたし たちの心は何を感 じ、目にはどんな 風景がうつってい るのか、考えよう。	言葉と気持ち 三つの事例を通し て、筆者は何を うったえようとし たのか考えよう。	読む
五年生の漢字 五年生で習った漢 字の復習をしよう。		言葉の組み立て 複合語の意味、ど んなふうにするの か考えよう。	漢字の読み方と使い 方 言葉によって読み 方が変わる漢字を 知り、正しく使え るようになるよう。	言葉